

校歌・校章

校歌について

平成元年11月23日制定

平成元年6月16日（金）山形県立山形北高等学校渡辺宏校長先生に作詞を依頼し、快諾を得、作曲については山形市清田美伯先生を通じ世界的な音楽家團伊久磨先生に依頼し、9月1日（金）快諾していただきました。

◆作詞について

鳥海山のように高い知性を求め、最上川のように豊かな感情を育み、日本海のように遙かな未来に向かってはばたき、一人ひとりが自分の虹を求めて学校生活に励み、わかりやすく生活目標になるように願いをこめています。

◆作曲について

作詞者の意向をふまえ、「あかるくさわやかに」最上川の流れをリズムの基本として作曲しています。

校章について

平成元年11月23日制定

平成元年6月に学区民に公募し、7月の総務委員会で選定しました。その結果北脇拓氏のデザインを採用、金内浩一氏（黒森小校長）に手直ししてもらいました。

その昔、松原道に生い茂っていたであろう雑草のようにたくましく、明るく素直に、そして何事にも進んで取り組む心やさしい子どもに育ってほしいという願いがこめられています。

三枚の花弁は、学校・児童・家庭（地域）を、また知・徳・体を表し、中心部の六角形は、聖徳太子の夢殿にあやかり理想追求を抽象しています。中央の「松原」は、その昔松原道に生い茂っていたであろう雑草—ふまれても生を希求する雑草—のたくましさを意味し、見事な花を開かせようと努力する教師・児童・地区民の連携と、たゆまざる理想追求の姿態をきびしさの中にやさしく表現しています。